

圧力センサーでふらん瓶内の気圧変化を測定。 データは無線での転送でPCでの記録管理にも対応。 スターラーをセットした6本タイプ。

特長

- 操作が簡単な圧力センサー式、滴定法と相関あり
- BOD5に対応、5日分5回の測定値を自動保存
- PCへの測定データ無線送信も可能(1時間毎～)

用途

- 水質検査におけるBOD5の測定[システム6]
- 化学物質やプラスチック等の生分解性試験 [システム6 BIO.P]



BOD
測定

呼吸活性センサー
システム6



生分解性
試験

呼吸活性センサー
システム6 BIO.P

*各PCは別途ご用意ください

型名	呼吸活性センサーシステム6 呼吸活性センサーシステム6 BIO.P				
測定方式	圧力センサー式。CO ₂ 吸収剤の減圧による測定値表示				
測定レンジ	0~90ppm	0~250ppm	0~600ppm	0~999ppm	0~4000ppm
設定液量	400mL	250mL	150mL	100mL	25mL
圧力値	500 ~ 2000 mbar (hPa)				
ふらん瓶容量/架数	500mL (専用遮光瓶) ×6本		1L (GL-45のねじ口びん) ×6本		
PCでの データ記録日数	ppm [mg/L] :5 ~ 30day, 圧力値[mbar (hPa)] :1 ~ 180day ※手動での現在値確認は随時、バッテリーが持つまで可能				
測定本数	測定最大 48本まで(1本ずつ違う設定が可能)				
スターラー	回転数固定		回転数可変、80 ~ 1500r/min		
外形寸法/質量	スターラー: 約1kg		スターラー: 約1.8kg		
	センサー+専用瓶: 240Hmm、 約400g/本		センサー+1L瓶: 315Hmm、 約670g/本		
	スターラー組み合わせ時 270W×185D (コンセント含215) ×300Hmm		スターラー組み合わせ時 230W×370D (コンセント含400) ×367Hmm		
電源	センサー部: 1本につきCR-2430×2個 マグネチックスターラー: AC100V、2W/4W (BIO.P)				
製品構成/付属品	センサー×6、専用遮光瓶/GL-45の1L瓶(BIO.P)、 6連スターラー(攪拌子付属)、ワイヤレスデータBOX (USBケーブル付)、 PC接続&記録用ソフト				

価格 お問い合わせ

- (*)測定用のPC (Windows 10以降)は別途ご用意ください。ワイヤレスデータボックスの接続はUSB端子を使用します。PC記録用ソフトウェアのインストールメディアはUSBメモリーでの供給となります。
- 炭酸ガス吸収剤(水酸化ナトリウムや水酸化カリウム等)は、別途ご用意ください。
- インキュベーター内で使用される場合、上記の奥行きに加えて(コンセント含)部の数字を目安とした余裕をとってください。

別売部品(追加もしくは交換用)

呼吸活性センサー
システム6増設用



呼吸活性センサー
システム6 BIO.P
増設用



型名	備考	価格
呼吸活性センサーシステム6増設用	6連スターラー(攪拌子付属) センサー×6、専用遮光瓶	お問い合わせ
呼吸活性センサーシステム6 BIO.P 増設用	6連スターラー(攪拌子付属)、センサー×6、 GL-45の1L瓶、取付アダプター	
専用遮光瓶(1本)	容器の補充用、およびBIO.Pシステムで ppm測定時の瓶として使用します。	

無線機能搭載のセンサー



呼吸活性センサーシリーズはWi-Fiで記録を出力する機能を搭載しております。短時間での記録の経時的変化を確認する実験系に最適です。

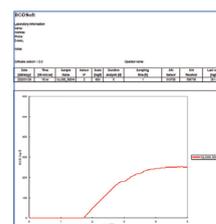
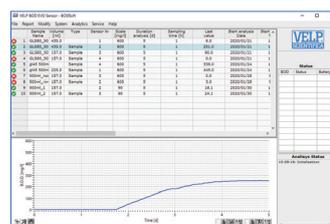
(次ページの6D/10Dと同じくPCを用いずに、センサー部に24時間ごと5日分の値を保存する機能もございます。また手動で現在値を確認することも可能です。詳しくはP.190をご覧ください。)

BOD測定向けと、生分解性試験向け製品

通常のセンサーシステム6と6 BIO.Pの違いはスターラーと瓶の対応となります。BIO.Pのセンサーは汎用のGL-45ネジ口の瓶が取り付けられるので、250mLや500mLなど、試験に応じた容器サイズに組み替えて使えます。

ppm(mg/L)の記録を行いたい場合は、専用の遮光瓶での測定を推奨しておりますので、ご検討ください。

PCでの記録について



付属の記録ソフトはppm値での測定の場合、30日間までの自動測定が可能です。30日間以上の測定は圧力値の記録にて、最大180日間(測定間隔は48H)までの測定に対応しています。データ出力はExcelファイル形式を基本としております。測定記録と専用の比較レポートを任意のタイミングで出力が可能で、測定経過の検討に有効です。測定用のPCはスタンドアロンでの運用が必要です。詳細はWEBをご覧ください。